

平成22年 3月15日総務財政委員会議事録 西てつし発言分

◆西 委員 おはようございます。民主党・市民連合の西でございます。総務財政委員会の質問をさせていただきたいと思います。

まず、項目、通告にさせていただいてますけれども、大変恐縮ながら1項目目の財政査定と二酸化炭素についての項目については、続く分科会の中で、行政評価の項目の中で触れさせていただきたいと思っています。

さて、実施計画の計画期間についてという項目を掲げさせていただいておりますが、現在本会議も含めて、総合計画、マスタープランの策定を言われてますが、現在どのように進められようとしているのか、お示し願います。

◎大黒 企画部参事 今議会で報告させていただいております堺活力再生プロジェクト（案）でございますけれども、広範多岐に渡る施策事業のうち、市長のマニフェスト項目も踏まえ、市民ニーズが高いと考えられるものを中心に、市長の任期に合わせ、今後4年間の取り組みをお示ししているところでございます。

これをたたき台といたしまして、議会議論を初め、有識者の意見も聞きながら、市民参加を経て、策定してまいりたいと考えております。以上でございます。

◆西 委員 堺市における基本構想と基本計画、実施計画の関係、さらに対象期間についてご説明いただければと思います。

◎大黒 企画部参事 基本構想及び基本計画、実施計画の関係でございますけれども、2000年に堺市の基本構想が20年ということで策定しておりまして、今年度をもって前期基本計画が終了いたします。来年度以降、後期の基本計画及び実施計画を策定するため今鋭意取り組みを進めているところでございます。以上でございます。

◆西 委員 この基本計画と実施計画、それぞれ政令指定都市の中でもいろんな期間があるようですし、堺市の中でも実施計画、何度か期間が変化をしているように記憶しております。

特に竹山市長が昨年に当選をされました。そういう意味では、マニフェストを掲げて、選挙をされたわけでありましてけれども、首長のマニフェストは選挙で事前評価が行われま

して、さらに、当選後もマニフェストの進捗達成状況に関する中間評価があり、さらに次の選挙では、最終的な達成状況に関する事後評価が行われなければならないものは、ほとんどローカルマニフェスト等々の学会を含め言われているところでありますけれども、マニフェストの各評価では、それを反映させた総合計画の達成状況等、堺市においては実施計画になるかもしれませんけれども、達成状況と対にして評価はしていくということが非常に重要だと私は考えております。少なくとも次の市長選挙において、市長選挙に次出られるかどうかわかりませんが、次の市長選挙においてローカルマニフェストの評価ができるような構造にしていくべきだと私は考えています。

そういう意味では、実施計画については、任期を基本として任期の4年と連動していくべきだと考えますが、お考えをお示しいただければと思います。

◎大黒 企画部参事 先ほどご答弁申し上げましたように、堺活力再生プロジェクト案でございますけれども、こちらのほうは、市長の任期と合わせた4年間の取り組みとなっております。これをもとに、たたき台としてマスタープランを策定していくわけです。任期につきましては、その範囲内、もしくは前後するかと思っておりますけれども、この策定の任期の計画期間の考え方につきましても、市民参加を経て、議会議論も含め検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

◆西 委員 ぜひと、4年任期に連動してつくっていただきたいと思いますが、その関連で、行政評価も従前議論させていただいておりますけれども、その行政評価の評価結果等に基づいて、毎年その計画の進捗達成状況をわかりやすくまとめて公表していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎井野 経営監理室次長 今委員のほうからお示しありましたように、今年度策定を予定しております行革プログラム、この中でも成果指標等をお示しできるように考えております。当然そういうものに基づきまして、今後は行政評価の中で反映して評価していきたいと思っております。以上でございます。

◆西 委員 ぜひと計画と評価を連動させていく取り組みをよろしくお願いを申し上げます。

次に異動時期のことについてお聞きをしたいと思います。3月、4月は御存じのとおり異動の時期で、4月1日に人事異動が発令されます。昨年もたくさんの異動が行われた

と思いますが、職員の皆さんにお聞きをすると、実は異動の二、三日前に内示が出て、大慌てでキャビネットを片づけて、さらに4月1日には実質的にも異動がなされていたというのを去年幾つかお聞きをしたことがあったように記憶をしております。特に、本庁から区役所、区役所から本庁という方は、数日ではたばたと異動して、ほとんど前の部署には顔を出すこともなく、残されているのはノート2冊だけといったことがあったというようなことをお聞きをいたしました。これには非常に驚いたのを覚えています。市長は、民間並みということをよくおっしゃいますけれども、民間では引き継ぎはしっかりと長い期間をかけて行われていることが普通だと思います。市の職員の皆さんも、そのように行われていると思いますけれども、一部でそのような2日間で引き継ぐようなことが行われている、こんな2日間程度で引き継げるものではないと私は信じていますけれども、しっかりと時間をかけて引き継げるような仕組みをつくっていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎岡崎 人事課長 本市では、定期人事異動に当たりまして、次年度に向けた準備や議会対応、職員のモチベーション等の要素を勘案いたしまして、おおむね発令日の1週間から数日程度前に内示を行いまして、発令までの間に後任者に事務を引き継いだ上で、速やかに新所属へと異動していただくように努めておるところでございます。

新たな体制のもとで円滑に事務を執行していくためには、事務の引き継ぎは非常に重要なものと認識しておるところでございます。スムーズな引き継ぎが行われますように日ごろから課題整理等に取り組んでいただくとともに、内示で速やかに組織的に引き継ぎを行うことを徹底してまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解のほどお願いいたします。以上でございます。

◆西 委員 ぜひとも異動の時期、もうぎりぎりですけれども、しっかりと弾力的に引き継ぎができるようにしていくということ、お願いをさせていただきたいと思います。

次に、自転車通勤等々についてこれまでお取り上げをさせていただいてきておりますが、エコ通勤及び自転車通勤の重要性について、堺市としてはどのように考えてらっしゃるかお示しをいただきたいと思います。

◎久保 労務課長 エコ通勤につきましては、職員みずからがエコへの取り組みの重要性を自覚し、率先してエコ通勤を実施する意義は大きいと考えております。以上です。

す。

◆西 委員 おっしゃるとおりだと思うんですが、そういう意味では、市民にとってわかりやすいまちづくり、非常に重要だということだと思いますけれども、もう1問だけお答えいただきたいんですが、さかいイベント・ホール情報紙@Sというのが、市民の皆さんに配布をされていますけれども、今お答えをいただいた方が一市民としてみたときに、さかいイベント・ホール情報紙というのは、堺のイベントホールの全部を網羅しているのか、それとも一部のものと見えるかお答えください。

◎大黒 企画部参事 済みません、ちょっと今初めて見せていただきましたので、これがホールの全体をあらわしているかどうかということの問いかと思えますけれども、ホールの全体ではないというふうに認識します。以上でございます。

◆西 委員 堺のイベントホール全体が認識されないというのは、僕にとっては少し驚きなんですけれど、多くの人にお聞きをしたときに、さかいイベント・ホール情報紙というのは、堺のイベントホールを網羅しているということを多くの市民が理解されているような気がしたんですが、少し意外なんですけど、@Sとはどのようなものか、担当の方からご説明いただければと思います。

◎射手矢 文化部副理事兼文化課長 情報紙@Sは、堺市文化振興財団が管理運営を行っております市内の文化施設、4館ございますが、そこでの財団主宰の事業や催しにつきまして、出演者の写真等を交えまして、市民にわかりやすく紹介しているタブロイド版の情報紙でございます。ページは4ページ、発行の頻度は年に3回程度、1回の発行部数は約2万部でございます。市役所の市政情報センターとか、区役所市政情報コーナーを初めまして、市内の公共施設約70カ所、それと難波、堺東、中百舌鳥、金剛、泉ヶ丘、各駅のPRボックスで配架しているほか、財団の主催公演の際には、入場者に対してお渡しいたしております。以上です。

◆西 委員 市内文化施設というのは、4館のみでしょうか。

これは違う組織だということは、ここにいる皆さんや議員はよくわかりますけれども、多くの皆さんにとっては、関係のないとまでは言いませんけれども、わかりにくいところがありますので、ぜひとも情報紙でも一元化をしていただくと。例えば、提案で申し上げれば、カレンダーで共通の1面をつくって、振興財団とそれにほかの4館の広報、同じものを載せていくとか、そういうやり方というのは幾つもあると思いますけれども、この情報紙で一元化の取り組みについてどのように考えられて、どのように進めていこうとしているのかも、申しわけございませんが、1年たってますのでお示しをいただければと思います。

◎射手矢 文化部副理事兼文化課長 情報紙によります文化情報の一元化については、その必要性があるというふうに認識しております。具体化に当たりましては、他の文化会館の指定管理者との調整、それから費用対効果の検証、効率的な編集発行のあり方、それから広告協賛に係る営業活動、それから今ご意見などちょうだいいたしました紙面構成についてどうすべきか、などなどの課題があるかと思きます。今後情報紙によります文化情報の一元化に向けまして、財団を初め、他の指定管理者や関係の部局とも協議しながら、課題の解決に取り組んでいきたいと思きます。

今委員おっしゃっていただきました意見については、大変ありがたく思きます。それらも含めて今後効率的、効果的な情報紙のあり方を前向きに検討していきたいというふうに思っております。以上です。

◆西 委員 是非とも、もう1年たってますので、早急に情報紙でも一元化をしていく、さらにはホームページ上でもわかりやすく発信をしていく。スピード感を持って取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

◆西 委員 民主党・市民連合の西でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

市長がいらっしゃるからお聞きをさせていただきたいと思きますが、市長就任後、本当に市民目線でまちづくりを進められるというところで、市の職員の皆さん、非常に期待をされるどころ大だと思きますけれども、先ほどの栗駒委員の質疑の中でもありましたけれども、例えば、ブランド事業、市の職員の皆さんに知恵を出し、汗をかくということを求めているかというところで、そういう意味では、賛同するものもたくさんある部分がありますけれども、知恵を出し、汗をかく市の職員さんの人材、どのように確保していくか、30代の私が非常に生意気なことを申し上げるのも恐縮ですけれども、優秀な人材をどのように確保していくかということについて、市長のお考えをお示しいただければと

◆西 委員　　なかなか給与についても制度についても、これからもさまざまな議論が必要かとは思いますが、市長のほうで給与のほうについても提起がされているのは多くの皆さんも御存じのところでありまして、私は、そこまで10人、20人並みに下げていくということは、モチベーションの観点からいかなものかと思いますが、仮に民間並みだと一方でおっしゃるのであれば、制度もすべて民間並みにそろえていくと、雇用環境の保障ということも民間では業務づけられていることをしっかりと公務職場でも保障していくということをお願い申し上げて、私の質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。